

OKAMURA REPORT

第87期 報告書 2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日 | 証券コード：7994



okamura

オカムラのミッション

豊かな発想と確かな品質で、
人が活きる環境づくりを通して、
社会に貢献する。



代表取締役 社長執行役員 **中村 雅行**

株主の皆様におかれましては、日頃より当社への格別のご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

株式会社オカムラは、創業以来、お客様のニーズを的確に捉えたクオリティの高い製品とサービスを社会に提供することに努めてまいりました。

持続可能な社会の実現の重要性が高まり変化していく価値観に合わせ、既存の経営理念を一部改訂し体系的に整理した「オカムラウェイ」を2021年7月に策定いたしました。

「豊かな発想と確かな品質で、人が活きる環境づくりを通して、社会に貢献する。」をオカムラのミッションとし、トータルソリューション企業への変革とグローバル化の推進を図るとともに、企業価値のさらなる向上と社会課題の解決を目指しております。

ミッションを実現していくために、「人が活きる環境の創造」「従業員の働きがいの追求」「地球環境への取り組み」「責任ある企業活動」の4つの観点からサステナビリティ重点課題を特定し、取り組みを推進しております。

「労働人口の継続的な減少」「働き方改革の普及」「デジタル技術の進展」など社会環境が変化する中、5年後の目標を設定し、それを達成するための2021年3月期から2023年3

月期までの3か年を対象とする中期経営計画を策定しております。社会や市場のニーズの変化を先取りした製品・サービスの開発や新たな事業モデルの構築を促進・実現するとともに、これまでのオペレーションの仕組みをこれからの変化に対応するものとするために構造変革を進めてまいります。

これからも、社会に貢献するとともに持続的な企業価値の向上に努め、社会から信頼されるリーディングカンパニーを目指します。

皆様には、今後も一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

当期の概況について

当連結会計年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な影響が続く中、経済活動は回復傾向が見られたものの地政学的リスクも顕在化し、諸資材・部品の調達難や価格高騰など、とりわけ供給面において厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、自らウィズコロナの働き方に挑戦するとともに、アフターコロナに向けた

ワークプレイス戦略レポートを公開するなど、社内の知見を活かした情報発信にも取り組み、特徴ある製品づくりやトータルソリューション提案による新しい市場創出に注力し、資材価格の高騰を吸収すべくコストダウンや価格改定を実施するなど対策に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高となりました。

事業別セグメントの概況について

▶ オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、働き方改革など新しいオフィスづくりへの動きは業種・規模を問わず全国の幅広い企業層に広がっており、加えてコロナ禍での働き方の急激な変化を受け、なお一層活発化しています。また、オフィスへの投資は、企業にとって生産性を向上させるうえで優先度の高いものとなっており、センターオフィスの改装需要が増加しております。このような状況のもと、新しい働き方とその環境を実践・検証する「ラボオフィス」での実証結果や、自社での働き方改革の実践により得られた知見を活かし、オフィス面積適正化（ライトサイジング）などの顧客ニーズを捉えた提案営業と、働き方の変化を捉えた新製品の拡充を展開いたしました。これにより、前連結会計年度に比べ、売上高、利益ともに大幅に増加し、過去最高となりました。

▶ 商環境事業

商環境事業につきましては、当社の主要顧客であるスーパー、ドラッグストア等の小売業を中心に、改装需要は好調に推移いたしました。このような状況のもと、店舗什器、カート機器、セキュリティ製品など総合力を活かしたトータルソリューション提案を強化するとともに、セルフレジなどの感染防止対策や、決済手段の多様化に対応したカウンター什器などの新しい需要の取り込みに努めたことにより、売上高は、過去最高となりました。しかしながら、中井工場の火災や冷

凍機をはじめとした調達難への対応によるコスト増加により、利益は減少いたしました。

▶ 物流システム事業

物流システム事業につきましては、巣ごもり需要の拡大と人手不足を背景とした省人・省力化への要望は強く、大型物流施設を中心に自動倉庫の需要は高水準で推移しております。このような状況のもと、優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な提案活動を展開してまいりましたが、コロナ禍における前期初からの商談の停滞や、顧客の投資先送り、部品の調達難などにより、前連結会計年度に比べ、売上高、利益ともに減少いたしました。なお足元での受注高は堅調に増加しております。

詳細はP3 OKAMURA At a Glance

配当金についての基本方針

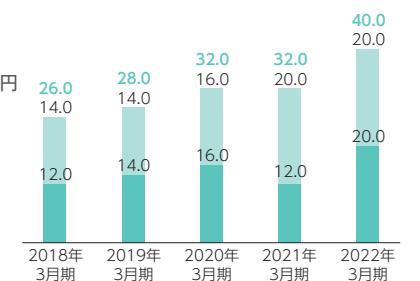
当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置付けております。

利益配当政策につきましては、業績に応じた適正な利益配分を目指すとともに、財務状況、将来の事業展開及び内部留保などを総合的に勘案し、安定配当の維持にも努めてまいりたいと考えております。

■ 配当金

第87期
期末
(年間40円)

単位：円
■ 中間
■ 期末



OKAMURA At a Glance

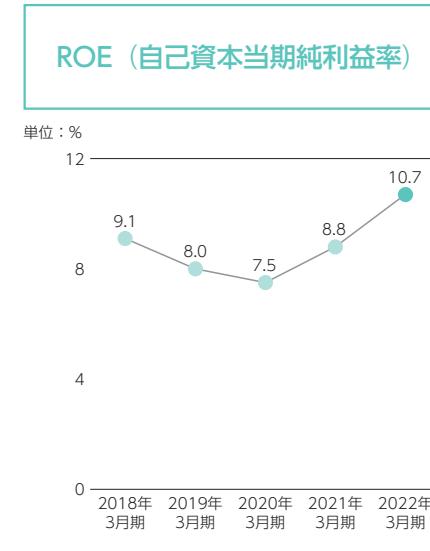
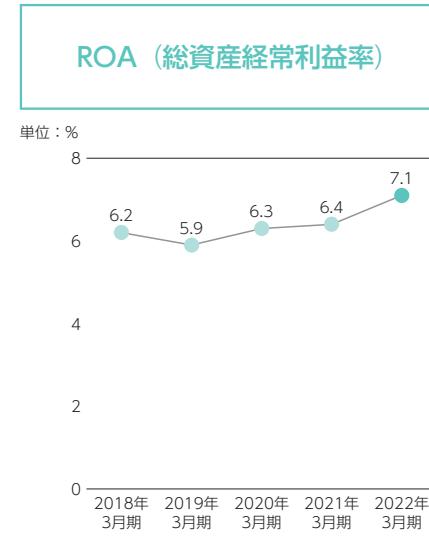
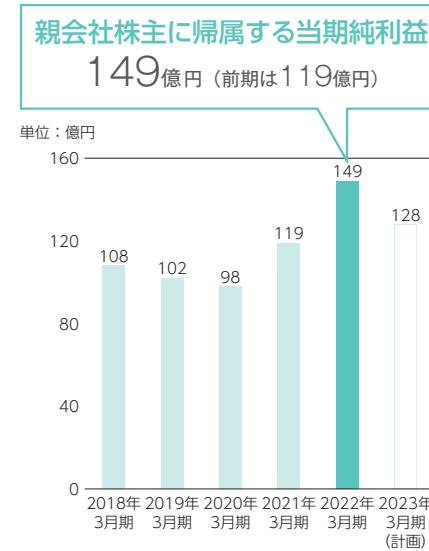
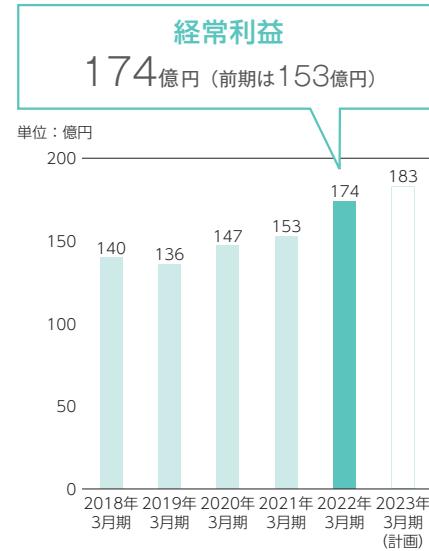
決算のポイント

- オフィス環境事業は、センターオフィスの改装需要の増加もあり、売上高・利益ともに過去最高。
- 商環境事業は、スーパー、ドラッグストア等の小売業の改装需要が好調に推移し、売上高は過去最高。調達難などの影響で減益。
- 物流システム事業は、コロナ禍における前期初からの商談停滞、顧客の投資先送りなどにより減収減益。
- 全社連結の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は過去最高。



▶ より詳細な決算情報は、右記のQRコードよりアクセスいただき、当社IRトップページからご覧いただけます。

決算ハイライト (連結)



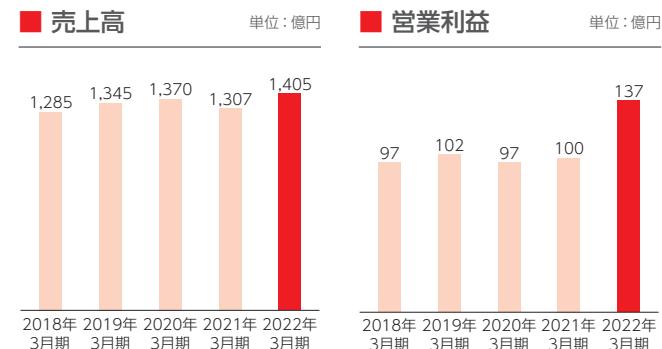
事業別ハイライト



	売上高構成比	売上高	営業利益
■ オフィス環境事業	53.8%	1,405億円	137億円
■ 商環境事業	39.3%	1,026億円	27億円
■ 物流システム事業	4.7%	123億円	△5億円
■ その他	2.2%	55億円	0億円

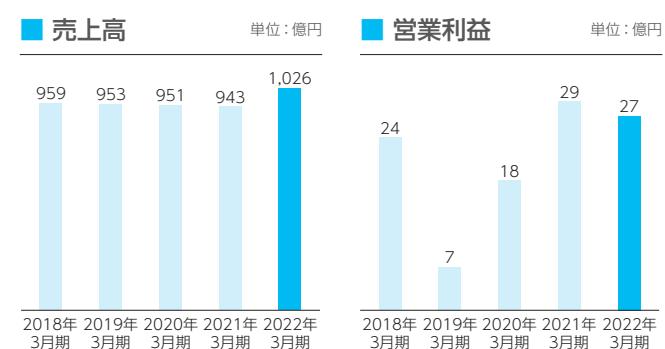
オフィス環境事業 Office Furniture

売上高構成比 53.8%



商環境事業 Store Displays

売上高構成比 39.3%



物流システム事業 Material Handling Systems

売上高構成比 4.7%



(注) 1. 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期から適用しているため、2022年3月期における経営成績に関しましては、前年比(%)を記載しておりません。

中期経営計画の進捗

2021年3月期から2023年3月期までの3カ年を対象とする中期経営計画（5年後の目標に向けた3年間の「行動計画」）を2020年5月に策定しました。

中期経営計画（2021年3月期～2023年3月期）

① 基本方針

「新たな需要の創造、効率的な経営、グローバル化の推進により、継続的な成長とESGへの積極的な取り組みを通じて企業価値向上を図る」

② 定量目標（2025年3月期）

売上高営業利益率 7%以上
自己資本当期純利益率（ROE）10%

③ 定性課題

- サプライチェーンの改革
- デジタル技術の活用
- 海外事業の強化

TOPICS 1

DB&B Holdings Pte.Ltdを子会社化

シンガポールに本拠を置き、中国及びフィリピンにも展開するオフィス向けデザイン・内装工事会社DB&B Holdings Pte.Ltdを子会社化しました。中国・アセアン市場におけるデザイン・内装工事分野での優良な事業プラットフォームを獲得するとともに、オフィス家具のニーズを把握し、同市場向け戦略製品の開発・生産・販売へと展開することで海外事業の強化につなげます。

2022年3月期実績

売上高営業利益率

6.1%

自己資本当期純利益率(ROE)

10.7%

2022年3月期

定性課題に対する全社横断課題取り組み実績

● サプライチェーンの改革

- 受注生産体制の強化と売れ筋製品の回転率向上
- 配送効率向上策（工場からの直納増加など）実施
- つくば事業所新棟の建設を決定

● デジタル技術の活用

- デジタル技術を活用した新たなサービスの拡販
- エキスパート人材育成強化
- DX社内プロポーザルの実施、実装に向け着手

● 海外事業の強化

- 中国、アセアンオフィス市場の拡大を目指し、デザイン会社DB&B Holdings Pte.Ltd（シンガポール）を子会社化
- 中国での物流システム事業の拡大を目指し、杭叉集団股份有限公司（中国）との合併契約を締結

TOPICS 2

杭叉集団股份有限公司と合併契約を締結

杭叉集団股份有限公司と合併契約を締結しました。杭叉集団股份有限公司は、中国浙江省杭州市を拠点とするフォークリフトメーカーであり、中国全土に強固な販売ネットワークを有しています。同社の販売基盤とオカムラグループが培ってきた設計力・生産技術を融合することにより、中国での物流システム事業の拡大を目指します。

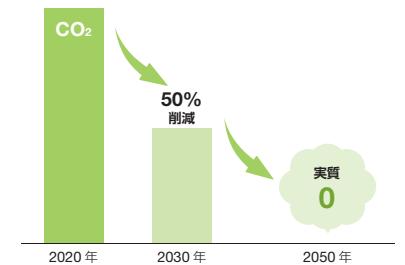
サステナビリティに関する取り組み

オカムラグループは、持続可能な社会の実現が求められる新たな価値観の社会の中で、企業が持続的に成長するためには、ESGを中心に捉えた事業活動が重要であると考えております。オカムラのミッションを実現していくために、当社グループの事業と未来世代も含めたさまざまなステークホルダーの視点から、「人が生きる環境の創造」、「従業員の働きがいの追求」、「地球環境への取り組み」、「責任ある企業活動」の4つを取り組むべきテーマと掲げ、それぞれについて重点課題を定めて活動を推進し、社会に貢献するとともに持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

● カーボンニュートラルに向けた取り組み

パリ協定に基づく温室効果ガス排出量の削減目標であるSBT（Science Based Targets）を踏まえ、オカムラグループでは自社の直接的な排出を指す「スコープ1」及び他社から供給されたエネルギーの使用に伴う間接的な排出の「スコープ2」の排出量について、「2030年に2020年比50%削減」「2050年に実質ゼロ」という目標を設定し、事業活動全体における取り組みを推進しています。

温室効果ガスの目標値



国際的な環境イニシアティブへの加盟

2022年3月に、事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることを旨とする国際的なイニシアティブ「RE100」、持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループ「日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）」に加盟しました。



● 社会貢献活動

「JEES・オカムラ次世代育成奨学金」を設立

デザイン分野の人材育成支援を目的とした返済義務のない給付型奨学金「JEES[®]・オカムラ次世代育成奨学金」を設立しました。

※ JEES：公益財団法人日本国際教育支援協会

生産・物流拠点での水力発電による再生可能エネルギーへの転換

生産・物流拠点において、水力発電による再生可能エネルギーへの転換を進めています。

転換した生産・物流事業所は、追浜事業所、中井工場、鶴見工場、横浜物流センター、高島事業所、富士精工本社（切り替え順）です。

ウクライナ及び周辺地域への人道支援に向けた寄付を実施

2022年3月に特定非営利活動法人国連UNHCR協会を通じて国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）へ5,000万円の義援金を寄付しました。

10-12月

- オカムラの6製品が「2021年度グッドデザイン賞」を受賞
- デザイン分野の人材育成支援を目的に「JEES・オカムラ次世代育成奨学金」を設立
- オフィスシーティング「CYNARA（シナーラ）」が「DFAアジアデザイン賞2021」メリットアワード受賞
- G20首脳陣に気候変動対策の加速を求める企業からの共同書簡に賛同
- 慶應義塾大学SFC研究所とコラボレーション 3Dプリンターで製作するバイオマスプラスチック素材のオフィス家具デザイン「Up-Ring（アップリング）」を発表

- オフィスシーティング「CYNARA（シナーラ）」がJIDAデザインミュージアムセレクションvol.23に選定
- 「がんアライアワード2021」で「シルバー」を受賞
- コロナ禍におけるワーカーの働き方や働く環境、意識の変化についての調査結果公開
- スタートアップ企業向けオフィスサービス事業の新会社「株式会社NovolBa」を設立

1-3月

- オフィス製品における「カーボンオフセットプログラム」を開始
- オカムラの3製品が米国「シカゴ・グッドデザイン賞 2021」を受賞
- 三菱重工グループとオカムラ、倉庫内の無人化物流ソリューションを製品化
- 物流施設においてAI搭載ロボットと遠隔操作技術を組み合わせピッキング作業の自動化を実現する「PROGRESS ONE（プログレスワン）」の事業化に着手
- スポーツ庁の「スポーツエールカンパニー2022」に認定

- 杭叉集团股份有限公司との合弁契約締結
- 環境省「第3回ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の環境サステナブル企業部門で「環境サステナブル企業」として選定
- 国際的な環境イニシアティブ「RE100」及び「日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）」へ加盟
- 「健康経営優良法人（ホワイト500）」に5年連続で認定

TOPICS 1

「NeoCon 2021」出展 ラウンジファニチュアコレクション「Phlox（フロックス）」発表

2021年10月4日～6日に米国・シカゴのマーチャндаイズマートにて開催された北米最大の商業インテリアの展示会「NeoCon 2021」に出展し、自然からインスピレーションを受けてデザインされたラウンジファニチュアコレクション「Phlox（フロックス）」を発表しました。人間工学に基づく滑らかなカーブとインナーシェルが体をサポートするフロックスチェアと、美しく柔らかな曲線を描いたフォルムのフロックステーブルは、ワークスペースの雰囲気を和らげ、よいアイデアやコラボレーションを生む空間をつくりだします。



TOPICS 2

「オカムラブランドフェア2022」開催

「オカムラブランドフェア2022」を2021年11月8日よりウェブサイトにて開催しました。ガーデンコートショールームでは、11月10日～12月3日に完全予約・招待制にて見学イベントを実施しました。テーマは「今日、ハートビートするオフィスで会おう。」メンバーの感情や血の通った議論から生まれる熱気と、開放された場所で心や体を健康的に保つ癒し。

予期せぬコミュニケーションが生まれることを楽しみ、人とのつながりを感じながら働く、心が鼓動する、新たなオフィスの在り方を提案しました。



TOPICS 3

「第56回 スーパーマーケット・トレードショー2022」出展

2月16日～18日に開催された「第56回スーパーマーケット・トレードショー2022」に出展。「ヒト・ハコ・ミライ～これからの店づくり、オカムラは考えます～」をキーワードに、買い物しやすく、働きやすい環境を実現するためのさまざまなソリューションを提案しました。什器や冷凍冷蔵ショーケースをはじめ2段台車の新製品やデジタルソリューションなどさまざまな展示を行いました。事業部全体のコンセプトとして「ヒト・ハコ・ミライ」を掲げ特設サイトを公開、年間を通じた提案活動につなげています。



TOPICS 4

「第1回 スマート物流EXPO」出展 & 「2022国際ロボット展」出展

1月19日～21日に開催された「第1回 スマート物流EXPO」に出展。ロボットストレージシステム「オートストア」、ロボットピッキングシステム「ライトピック」、パレットストレージシステム「サイビスター」など、ロボティクスを活用した物流自動化ソリューションを提案しました。

3月9日～12日開催の「2022国際ロボット展」では、事業化を進めている、ロボットによる自律ピッキングと、人が遠隔操作で作業支援するハイブリッド型の物流自動化ソリューション「PROGRESS ONE（プログレスワン）」を初めて公開。双腕ピッキングロボットのプロトタイプによるデモンストレーションを行いました。



New Products & Service information 1

クリエイティブファニチュア 「WORK CARRIER (ワークキャリアー)」

「ワークキャリアー」は、自由なレイアウトで周囲の空間と連続した広がりをつくり、ワーカーが自然に集うことで、幅広いコミュニケーションが生まれる環境づくりを可能にするクリエイティブファニチュアです。大型のアンカーテーブルに、小型で動かしやすいサテライトユニットを組み合わせ、ダイナミックな空間を構築。高さ違いの重なりをフレキシブルに配置し、周りの空間と境界なくつながることで自然と人が集まる場となり、さまざまなコミュニケーションの形を生み出します。



New Products & Service information 2

タスクシーティング 「Spher (スフィア)」

「スフィア」は、必要最小限の調整で身体にフィットするタスクシーティングです。オカムラ独自の「3Dフィジカルフィットシェル」により、座る人の体格に合わせて背もたれと座面が身体を包み込むように変形し、身体にフィットします。アームは、タブレット端末などのデバイスを使って仕事をする際に、自然と快適な姿勢になるよう内側に丸みを帯びた新しい形状の「スムーズフィッティングアーム」をラインアップ。

オカムラ独自のシェルとアーム形状により長時間座っても疲れにくく一人ひとりの身体に寄り添う快適な座り心地を実現します。



表紙の写真について
張材に日本の使用済み漁網をリサイクルした再生ナイロン糸と再生PET糸によるオリジナル素材Renet(リネット)を使用

New Products & Service information 3

在宅ワーク向けファニチュアシリーズ 「Parabel (パラベル)」

「パラベル」は、家のインテリアになじむナチュラルなデザインの在宅ワーク向けファニチュアシリーズです。チェアは、座面にオカムラ独自の異硬度クッションを使用、背のロックング(10度)、座面の回転などの機能を持ち、オフィスと変わらず快適に働けるようにコンパクトながらも優しく包み込むようなしっかりとした座り心地を実現します。デスクは、組み立てやすいシンプル構造で、安全性に配慮した丸みのある形状です。

在宅ワークでのほたらき心地を追求した機能とデザインで、オフィスと変わらず快適に働ける空間を実現します。



New Products & Service information 4

倉庫内の無人化物流ソリューションを製品化 レーザー誘導方式無人フォークリフトとパレットストレージシステムを連動

三菱ロジスネクストのレーザー誘導方式無人フォークリフト「PLATTER Auto (プラッターオート)」と、オカムラのパレットストレージシステム「CYBISTOR (サイビスター)」を連動させた無人化物流ソリューションを製品化しました。

無人走行の「プラッターオート」が、搬送するパレットを「サイビスター」のラックに入庫し、ラック内ではシャトルがレーンの最奥部までパレットを搬送、格納します。一連の物流作業を無人化でき、荷役業務の省人化・省力化に貢献します。通路スペースを必要としない「サイビスター」は一般的なラックに比べ約2倍の保管量を実現でき収納効率を向上します。



株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	100,621,021株
株主数	7,343名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,279	10.50
オカムラグループ従業員持株会	5,775	5.90
明治安田生命保険相互会社	5,436	5.55
日本製鉄株式会社	5,313	5.43
株式会社三菱UFJ銀行	4,805	4.91
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,415	4.51
三井住友海上火災保険株式会社	4,236	4.33
オカムラ協会持株会	3,695	3.77
株式会社横浜銀行	2,853	2.91
オカムラディーラー共栄会	1,641	1.68

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(2,699,770株)を控除して計算しております。

会社概要

設立	1946年7月
資本金	186億円
登記上本社	横浜市西区北幸二丁目7番18号
本社事務所	横浜市西区北幸一丁目4番1号
従業員数	3,804名

取締役及び監査役 2022年6月29日現在

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役(社長執行役員)	中村 雅行	
取締役(専務執行役員)	菊池 繁治	オフィス環境事業本部長
取締役(常務執行役員)	山木 健一	生産本部長
取締役(常務執行役員)	河野 直木	コーポレート担当
取締役(常務執行役員)	井上 健	商環境事業本部長
取締役(執行役員)	福田 栄	コーポレート担当
取締役(社外)	浅野 広視	
取締役(社外)	伊藤 裕慶	朝キーストン・パートナーズ社外監査役
取締役(社外)	狩野 麻里	伊昭和女子大学全学共通教育センター特命教授
取締役(社外)	上條 努	サッポロホールディングス株特別顧問
取締役(社外)	菊地 美佐子	三井物産フォレスト㈱代表取締役社長
監査役	岩田 寿一	
監査役	永井 則幸	
監査役(社外)	鈴木 祐一	弁護士
監査役(社外)	岸上 恵子	公認会計士

執行役員 2022年6月29日現在

地位	氏名	担当
常務執行役員	佐藤 喜一	コーポレート担当
上席執行役員	田尻 誠	物流システム事業本部長
上席執行役員	牧野 博	オフィス環境事業本部 営業本部 テレコム営業本部長
上席執行役員	酒徳 真司	商環境事業本部 リテイル・ソリューション本部長
上席執行役員	荒川 和巳	オフィス環境事業本部 マーケティング本部長
執行役員	山下 住一	物流システム事業本部 マーケティング部長
執行役員	近藤 岳文	オフィス環境事業本部 営業本部 ライフサイエンス事業部長
執行役員	栗原 実良	生産本部 第二事業部長
執行役員	大野 嘉人	海外営業本部長
執行役員	佐藤 春徳	オフィス環境事業本部 営業本部 首都圏営業本部長
執行役員	有吉 真二	オフィス環境事業本部 営業本部 関西支社長
執行役員	寺西 郁	商環境事業本部 営業本部 首都圏営業本部長

当社の主要な工場

追浜事業所	(神奈川県横須賀市)
高島事業所	(山形県東置賜郡高島町)
つくば事業所	(茨城県つくば市)
富士事業所	(静岡県御殿場市)
御殿場事業所	(静岡県御殿場市)
中井工場	(神奈川県足柄上郡中井町)
鶴見工場	(神奈川県横浜市)
パワートレーン事業部	(神奈川県横須賀市)

当社グループの主要な営業所及び工場

営業拠点	名称	所在地
営業拠点	奥卡姆拉(中国)有限公司	(中国)
	Siam Okamura International Co., Ltd.	(タイ)
	DB&B Holdings Pte. Ltd	(シンガポール)
製造拠点	株式会社関西オカムラ	(大阪府東大阪市)
	株式会社エヌエスオカムラ	(岩手県釜石市)
	株式会社山陽オカムラ	(岡山県高梁市)
	株式会社富士精工本社	(石川県能美市)
	杭州岡村伝動有限公司	(中国)
その他サービス拠点等	株式会社オカムラ サポート アンド サービス セック株式会社	(東京都千代田区) (東京都中央区) (他24社 合計34社)

主なショールーム

オカムラ ガーデンコートショールーム	(東京都千代田区)
オカムラ 仙台ショールーム	(宮城県仙台市)
オカムラ 名古屋ショールーム	(愛知県名古屋)
オカムラ 大阪ショールーム	(大阪府大阪市)
オカムラ 福岡ショールーム	(福岡県福岡市)
オカムラ Visplayショールーム	(東京都千代田区)
物流システムショールーム「LUX」	(静岡県御殿場市)

▶ インターネットでオカムラの最新情報をご覧ください。
オカムラウェブサイト <https://www.okamura.co.jp/>

オカムラ 検索



※「QRコード」は(株)デンソーウェアの登録商標です。

株主メモ

決算期
3月31日

定時株主総会
6月下旬

基準日
3月31日

公告掲載新聞
日本経済新聞

株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1

☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

株式に関する手続きのお届出先・ご照会先について
○ 証券会社に口座を開設されている株主様は、口座を開設された証券会社等にお問合せください。
○ 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記、特別口座の口座管理機関の連絡先にお問合せください。

Information

ウェブサイト「Okamura Live :) (オカムラライブスマイル)」公開

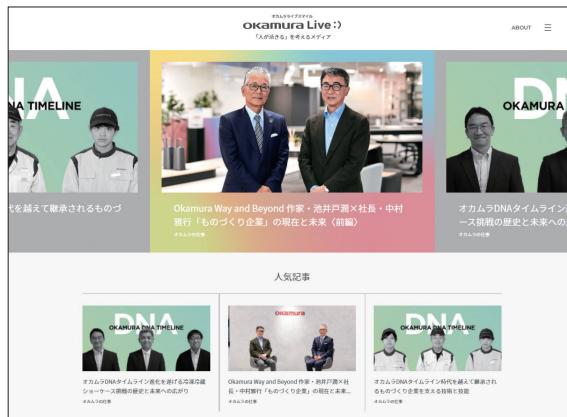
「Okamura Live :)」は、「人が活きる」社会の実現を目指すオカムラのカルチャーや取り組みを紹介するウェブメディアです。

ミッション・オカムラ宣言・私たちの基本姿勢の3つから構成される経営理念オカムラウェイ。「Okamura Live :)」では、オカムラウェイの中核概念「人が活きる」を切り口に、企業カルチャーやオカムラ社内の様子がわかる取り組みを紹介します。

サステナビリティの重要性が高まる新しい価値観の中で、「人が活きる」社会の実現を目指し、オカムラの姿勢や価値観をより広く伝えることを目的として、「人が活きる」を中心とした活動や取り組み、挑戦の事例を発信していきます。



<https://live.okamura.co.jp/>



コンテンツ紹介

Okamura Way and Beyond

経営理念「オカムラウェイ」と、「これからのオカムラがめざす姿」を、さまざまな角度から紹介しています。

オカムラDNAタイムライン

創業の精神、社是、モットーは「オカムラのDNA」として今も受け継がれています。さまざまな事業領域に広がるオカムラのタイムラインから、「オカムラのDNA」を感じられるストーリーを紹介しています。

オカムラウェブサイトIR情報ページリニューアル

IR情報のページをリニューアルしました。
IR情報はこちらからご覧ください。

<https://www.okamura.co.jp/company/ir/>



人を想い、場を創る。

OKAMURA

株式会社オカムラ

〒220-0004 横浜市西区北幸二丁目7番18号
TEL : 045-319-3401 (代)

2022
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

